

平成 28 年 10 月 15 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 慶應義塾普通部 矢澤 和明、桑原 亮
2. 講師氏名: Dr. John D. Martin
3. 同行者氏名: 乗松 純平 氏
4. 実施日時: 平成 28 年 10 月 8 日(土) 10:50 ~ 12:35
5. 参加生徒: 中学 3 年生 17 人  
備考: 選択授業「英語で学ぶ Science」履修生徒
6. 講演題目: (英文) Changing the tumor's blood vessels to increase drug delivery
7. 講演概要:

はじめに講師の略歴について、学生時代や所属した研究室の写真を使って説明があった。増大した腫瘍付近では血管が圧迫され血流が遮断されていることを学び、そのモデルとしてリンゴやオレンジに切れ目を入れても広がらず、加熱したソーセージに切れ目を入れると広がる様子を観察した。実際の腫瘍付近の血流を回復し、化学療法の薬物送達が増大する研究結果の説明を受けた。質疑応答では、研究の詳細のほか、日本とアメリカの研究室の様子の違いや、研究者として過ごす日々についてなど、20 を超える質問にひとつひとつ丁寧に答えていただいた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 50 分      質疑応答時間 50 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演、食材を用いた演示実験
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者によるサポート、担当教員による補助的な通訳
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
“The Biology of Cancer” Chapter 2、蛍光顕微鏡に関するネット記事の輪読
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):     交通費       宿泊費       謝金
11. その他特筆すべき事項: